

# サッカーの体育授業で活用できるゲーム映像コンテンツの作製

ー小学校体育まるわかりハンドブックが紹介している簡易化されたゲーム教材の映像化ー

本橋 諒 (京都教育大学)

## 1. 本研究の目的

小学校学習指導要領解説体育編（文部科学省，2018，p.140）では，高学年ゴール型ボール運動の知識及び技能の内容として，「ボール操作とボールを持たないときの動きによって，簡易化されたゲーム」を実施することが示されている．本研究は，過去に出版された指導参考資料である小学校体育まるわかりハンドブック（文部科学省，2011），高学年ゴール型ボール運動において，文字と図で解説されているサッカーの簡易化されたゲーム「フリーマンゲーム」について，文部科学省が公開している動画を参考に，ゲームのねらいや内容のポイント，発展的な学習につなげるための解説などを含めて，サッカー未経験の教員であっても理解でき，授業を行う際に活用できるような映像コンテンツを作製することを目的とした．

## 2. フリーマンゲームのルールと映像化の方法

フリーマンゲームは，サッカーのオールコートの縦方向や横方向に2つから3つのグリッドを設定し，グリッド内しか動くことができないプレイヤーと，グリッドに関係なくコート内を動くことができる「フリーマン」とで行うゲームである．プレイヤーの動きを制限することによって，攻撃側に数的優位（アウトナンバー）の状況が生まれやすくなり，攻撃と得点がしやすくなるよう配慮している．しかし，サッカー未経験の教員にとっては，アウトナンバーの状況や，人に対してではないスペースに送るパスなど，難しい内容を含むと考えられ，このような点についても解説する映像コンテンツにする必要があると考えた．

体育会サッカー部に所属する男子大学生に協力してもらいフリーマンゲームの撮影を行った．撮影した映像に対して，字幕や図示，ナレーションをあてるなどの編集を行い，計8つのタイトルを作製した．各タイトルは，学習が段階的に進められるようPDF書類内のリンクをクリックすると，タイトルが再生されるような目次を作製した．あわせて，Web ブラ

ウザでも閲覧できるようにリンクを貼ったHTML目次も作製し，1枚のDVDディスク内にまとめた．

## 3. 作製した動画コンテンツ

サッカーの攻撃パターンは，時間をかけて主に横方向にボールをまわし，ディフェンスが遅れた際のずれをつくろうとする遅攻と，ディフェンスの裏のスペースに対する素早い縦パスなどを用いて攻撃する速攻とに大別される．本研究では，1)コートをフロントコートとバックコートの横方向2レーンに分割したゲーム，2)同じく3レーンに分割したゲーム，3)縦方向2レーンに分割したゲームの3種類のフリーマンゲームを取り上げ，それぞれのゲームに遅攻と速攻の学習を対応づけて解説するようにした．

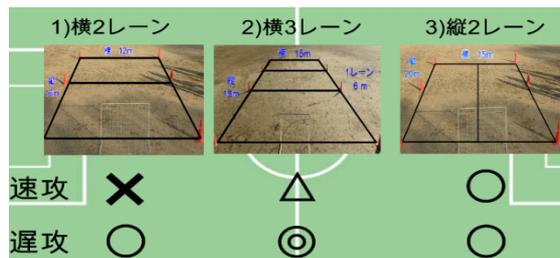


図 3 種類のフリーマンゲームとゲームの関係

3種類のどのゲームも，ボールを横や後ろ方向には移動させることができるため，遅攻についてほとんど制限がなく実施することができる．しかし，1) 2) のようなコートを横方向に区切ったゲームでは，速攻が制限されることとなり，一方 3) のゲームでは縦方向の移動の制限が少ないことから，相手の裏のスペースへのパスを用いるなど速攻を行うことに適したゲーム教材であると考えられる．このようなゲーム状況の制限を踏まえた上で，学習段階に応じた適切なゲーム教材を使用することが重要であることを解説するようにした．

## 4. 文献

文部科学省（2018）小学校学習指導要領解説体育編．

文部科学省（2011）小学校体育（運動領域）まるわかりハンドブック高学年．